



会報

シルバー伊賀

第28号

2019.1

●全国安全就業スローガン最優秀作品

事故防止、急ぐな、あせるな、気を抜くな



シユロ細工「イノシシ」の作品 松永広報委員撮影

●伊賀市安全標語入選作品

最優秀作品 「危険箇所 皆で把握 作業前」 城 時三

優秀作品 「気のゆるみ 心のゆるみに 事故起きる」 前沢 孝之

優秀作品 「自分には あると思うな“運”と“つき”ないと思うな“ケガ”と“事故”」 森田 光

佳 作 「よく知って よく確かめて よい仕事」 佐藤つたえ

佳 作 「ヒヤリした 反省活かして 事故はゼロ」 池田富士男

公益社団法人 伊賀市シルバー人材センター

〒518-0809 伊賀市西明寺2782-92

TEL (0595)24-5800 FAX (0595)23-2040

Email uenosc@sjc.ne.jp

<http://www.sjc.ne.jp/uenosc/>

年頭ごあいさつ

公益社団法人
伊賀市シルバー人材センター

理事長 中居 喜芳



新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様には、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、皆様には、日頃より私たちシルバー人材センターの運営に格別のご支援、ご協力を賜っておりますこと、心よりお礼申し上げます。

今、日本では、人口の減少とともに、人手不足が深刻で、私たちシルバー人材センターも会員が減少傾向にあり、全国シルバー人材センター事業協会では「第2次会員100万人達成計画」を策定、会員の構成比率が低い女性会員の増強のため、女性活躍推進の提案を行うなど、その増員のために取り組まれています。こうした中、私たちのセンターでは、昨年11月に「会員拡大プロジェクトチーム」を立ち上げ、種々の方策の検討・実行を行うなど、会員増を図るべく努めています。

しかし、政府は、私たちシルバーに子育て支援や家事援助などの分野での社会貢献を求める一方、私たち会員の対象年齢のうち、若年層となる60歳代の継続雇用年齢をさらに引き上げようと検討を始めるなど、会員増の先行きは不透明な状況にあります。こうした状況ではありますが、私たちは、社会の期待に応えるため、シルバー人材センターの意義や魅力をアピールし、社会の支え手として、会員一丸となって、社会貢献の意識を高く持ち、仲間を増やしていくための活動を行うことが重要になってくるのではないでしょうか。

今年は、こうした取組みを行いながら、「自主、自立、共働、共助」のシルバー人材センターの理念の基、役職員はもとより会員の皆様と共に「魅力あるセンター作り」に取り組んでまいりたいと考えておりますので、よろしくお力添えくださいますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、会員の皆様のご健康、ご多幸を心よりお祈り申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。

伊賀市

市長 岡本 栄



あけましておめでとうございます。皆様には、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

いよいよ、今月4日から新庁舎で業務が始まります。新しい庁舎の外観は、大屋根や深いひさし、城下町を連想させる黒を基調としているほか、入口には芭蕉さんの真筆をもとにした市役所銘版を設置し、芭蕉生誕の地を広くアピールしています。また、地震時に建物の揺れを吸収する免震構造を伊賀地域で初めて採用しており、防災指令機能を維持できるようになっています。4階まで吹き抜けを設け、来庁者が庁舎内を一望でき、また、市民利用の多い窓口を1、2階に集約して、市民の皆さんに利用しやすく分かりやすい庁舎としています。

さて、昨年を振り返りますと、未就学児の医療機関での窓口の支払い無料化、妊娠中から出産後の子育て期までの途切れのない支援体制の構築や新生児の聴覚検査や産婦検診費用の助成を開始し、産婦や新生児に対する早期支援を実施してきました。また、「忍びの里 伊賀」創生プロジェクト」「伊賀上野NINJAフェスタ」など「忍者」を切り口とした観光まちづくりにより、観光客の獲得に向け積極的な取り組みを行いました。移住・交流では、移住コンシェルジュを配置し、重点施策として取り組み、移住者数県内1位を達成しました。

そのような中、今年は、喫緊の課題である旧南庁舎の利活用について、伊賀市中心市街地活性化協議会から提出された「第2期伊賀市中心市街地活性化基本計画策定に向けての提言書」を踏まえ、一日も早い賑わい創出とまちなか活性化に関連する諸課題の解決をめざしたいと思います。

今年、伊賀市は合併して15年を迎える年となります。更なる飛躍の年となるよう「伊賀市まち・ひと・しごと総合創生戦略」「第2次伊賀市総合計画第2次再生計画」に基づき事業を実施していきます。

「来たい・住みたい・住み続けたい“伊賀”づくり」に向けて、引き続き、市民の皆さんのご理解とご協力をよろしくお願ひいたします。

年頭ごあいさつ

伊賀市議会

議長 岩田 佐俊



新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様には、平成31年の輝かしい新春を穏やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素は、議会に対しまして、格別のご支援ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

貴センターにおかれましては、日頃から、就業を通じて、高齢者の健康維持や社会参加による福祉の向上、また地域の活性化に貢献していただいております。これはひとえに、役員の皆様、会員の皆様のご努力の賜と、深く敬意を表する次第でございます。

さて、我が国では少子高齢化が急速に進展し、世界に類を見ない人口減少社会を迎えてます。私たちを取り巻く環境は、人口減少による税収減、産業の担い手不足、空き家問題や年金・医療・介護などの社会保障負担の増加などにより、一層厳しさが増しております。

このような中、貴センターの役割はますます重要なものとなってきております。今後とも、シルバー人材センターの「自主・自立・共働・共助」という理念の下、意欲と能力に応じた、多様な就労機会の確保など、高齢者の皆様が自ら積極的に社会参加ができる環境づくりに、一層ご尽力いただきますようご期待申し上げます。

市議会といたましても、こうした社会情勢を踏まえ、高齢者の福祉・雇用施策について精一杯のご支援をして参りたいと思っておりますので、どうか今後とも、皆様方の豊富な知識とご経験を活かし、高齢者の皆様がいきいきと暮らせる地域づくりに、お力添えをいただきますことをお願い申し上げます。

結びに、貴センターの益々のご発展と、会員皆様のご健勝、ご活躍を心からご祈念申し上げまして、新年のご挨拶といたします。

公益社団法人
伊賀市シルバー人材センター

互助会会長 前沢 孝之



新年あけましておめでとうございます。会員の皆様にはお健やかに新しい年をお迎えの事とお慶び申し上げます。平素は互助会の諸活動に対しまして深い御理解と温かい御支援を賜り、心から厚く御礼申し上げます。

昨年度は長年の懸案でありました、他地区シルバーとの交流の件ですが、9年くらい前に一度名張市シルバー互助会との意見交換会を実施致しましたが立ち消えとなり、互助会交流が途絶えてしまいました。お互いのシルバーの状況、又お互いに苦労悩んでいる事などを一同に会し、意見を出し合い、お互いの良きところは学び、お互いのシルバーと共に向上させて活動を活発化させればと思い、10月11日名張シルバーを訪問し、意見交換をさせて頂きました。互助会のあり方、考え方、実際の活動についての方法、シルバー本体に対する考え方、対応方法等、様々な意見が多く出ました。有意義な会議だったと思います。今後名張シルバー・伊賀シルバーに於ましては、お互いの行事の折に特別参加、または招待メンバーとして交流を深め、お互いの良い処を吸収し、意見交換を行ってお互いの成長を進めていく様お互い努力しようといい交わしました。又、第4回伊賀市シルバー人材センター互助会の芸能大会には、数人の参加者を予定し、賛助出演をして頂くことで話を進めています。

現在シルバーの会員の減少が激しくなって来て居ります。シルバーエイジの有り方、仕事の仕方、健康の維持の仕方、心身のエンジョイの方法による考え方等、従来の考え方を少し変えながら、シルバーエイジの有り方をチャンジしながら、楽しい人生を送れればと思います。最後に会員の皆様の一人一人が健康で幸福なる日々を過ごして頂きます様に心から祈念申し上げ新年の御挨拶といたします。

新年あけましておめでとうございます 本年も、よろしくお願ひします。

公益社団法人 伊賀市シルバー人材センター役員



理事長 中居 喜芳	副理事長 貝増統太郎	常務理事 福山 康宣
顧問 畑中 嘉之		
理事 小林 康志	山崎 健市	角谷 誠之助
西澤 民郎	藤原 正一	山中庄太郎
監事 佐治 篤史	松原 英機	森本 章
		金谷 重義
		渡邊由紀子
		繁田 圭司
		森中 一美
		門井 宏夫



亥年のお年玉



平成31年は亥年です。亥年生まれ（昭和22年）の「年男・年女」の方々に投稿いただきました。

- ①人生で心に残ったことは？ ②趣味は？ ③これからの抱負は？ ④どんなお仕事をしていますか？



澤 元子（青山支部）

- ①田舎育ちの私は、小・中学校とも分校でした。先生に恵まれ、少しの時間を利用して、オルガン（バイエル）とソロバンを毎日指導して頂いたのです。当時塾のない時代でしたが、塾の役目もして頂いたのです。懐かしい思い出です。
- ②軟式テニスとゴルフ？ 今は畑仕事。青空の下、汗を流してのスポーツは快適でした。
- ③老齢化の波は、この青山にも押し寄せていますが、地域の人達との交わりを忘れず、いつまでも若い気分でお付き合いして行きたいです。地域活動への積極的参加です。
- ④独居老人のお買物です。見守りも兼ねてさせて頂いています。継続していければと思っています。



岡本 弘道（阿山支部）

- ①結婚、子供の誕生、孫の誕生と色々と思いつき出しが出来ますが、70年余生きてきて今思うことは、大きなケガもなく、入院したこともない健康な体で生んでくれた両親にただただ感謝していることです。
- ②シルバーの会員さんに野菜の苗をいただいた初めて植えたことがきっかけで、今では家庭園で野菜作りです。孫に送って「おじいちゃんの作った野菜が一番おいしい」と言ってくれたりします。
- ③月並みなことですが、これからも健康で現在の仲間と、家族にささえられ、1年でも1日でも長く現在の生活を続けていくことです。
- ④植木の剪定



山村 眩子（大山田支部）

- ①40数年前になりますが、職場からの帰宅途中、交通事故に遭い1週間の意識不明、その後2ヶ月の入院、通院を経て職場に復帰することができました。その後も特に後遺症に悩まされることなく、自分でも信じられないほど回復し、元気で過ごさせていただいていることに感謝しています。
- ②「数独」は、いつでも、どこでもできますので楽しくやっています。「温泉巡り」は夫とあちこちに行って癒しの一つにしています。
- ③今、こうしてシルバーでお世話になりいろんな方々とお出会いでき、元気に働かせていただいている。また、家庭では孫からのパワーをもらい、気分も若くなりますので、少しでも長く元気でいたいものです。
- ④駅の改札業務・スーパーの店頭販売や商品展示



田畠 寛一（西部第5）

- ①長い会社勤めの中で難局や対外的な責任対応を迫られた時に真正面から真剣に立ち向かっていると周囲（先輩・同僚・友人）から救いの手があり、共に問題を解決できた場面が数多く有りました。真剣勝負の場面と周囲の暖かさ、ありがたさがよく思ひだされます。
- ②ボランティアガイド、俳句、バードゴルフ、ジョギングそしてお酒などなどです。
- ③「いがうえの語り部の会」でのボランティアガイドで更に知識を得ることと伊賀に来られたお客様が「上野にきて良かった」と笑顔で帰っていただくことを励みとしたい。又、シティマラソン（上野・月ヶ瀬・宇陀）をいつまで挑戦できるか？あせらず健康維持、体力作りを楽しみながら続けていきたい。
- ④公園の遊具点検の仕事が3月で終わります。月刊誌リーガの配達を頂いていますが、体力づくりを兼ねて継続させて頂ければありがたいです



山川 文孝（島ヶ原支部）

- ①幼いころ、川原や田んぼでキャッチボールをしたり、夏は川で泳いだり・魚釣り、秋は山に入るとマツタケが。冬は雪が積もり、川は一面に氷が張った。小学5年生の時、校舎が焼失し、みんながばらばらになり、各区の公民館やお寺での授業。それでも楽しかった。中学では、グランドが狭く、校舎の窓ガラスを何回ともなく割るために、野球部が廃部になり涙を流した事。その後バレーボール部に入り、皆で勝ち取った県大会第3位。学校からの帰り道、友達と日が暮れるまで語り合った『こたつ山』等々
- ②これといった趣味はありませんが、お酒（ほどほど）と少しばかりのゴルフ。
- ③抱負というより心構えですが、昨年、健康診断で食道がんが見つかりました。幸い早期の発見だったため、内視鏡手術で切除して頂きました。やはり検診の有難さを実感しました。今後も定期的に受診するとともに、自分なりの健康維持に努めていきたいと考えています。
- ④現在、公園の巡回・遊具点検等のお仕事をさせて頂いております。



福永 けい子（伊賀支部）

- ①数年前まで、夫の兄弟6人の夫婦が全員揃って、毎年旅行を楽しんでいました。また、健康で退職後も色んな人達と関わって働くことができました。そうしたコミュニケーションから多くのことを吸収し、僅かながら成長できたことに感謝しています。
- ②空いた時間を見つけて、お寺や神社を巡り、四季折々の景色や花々に触れ、ご当地の美味しいものを食べる、そんな小旅行が趣味です。道の駅へ立ち寄り、物産を買うのも楽しみの一つです。
- ③音楽や体操などのサークルに積極的に参加したり、趣味の小旅行を楽しみながら、心身ともに健康に過ごしたいです。そして地域の人とのつながりを大切に、助け合いながら生活できれば。
- ④放課後児童クラブ



ここに人あり



堂山 藤雄（阿山支部）

私は、大阪府堺市で生まれ小学生の時に疎開の為、滋賀県水口市に転居。卒業後就職は神戸で、洋家具の製作に携わりました。

伊賀市シルバー人材センターには、平成17年に入会し、現役時代工務店で勤めた事も役立ち工場内の補助作業や登下校安全ポートの仕事もさせていただきました。趣味は、互助会主催のシルバーフェスタIN伊賀にも出展した絵画（水墨画等）で、時折旅に出かけ描いたスケッチブックは数多くあります。又、水墨画等を特別養護老人ホーム「福寿園」に毎月5点ずつ展示し10年になり、入所されている方に喜んでいただいております。



堂山さん自画作品の前にて

東谷 孝子（西部第4）

シルバー人材センターの会員であった夫に誘われて、平成15年に入会しました。

初めの半年間は、芭蕉や忍者の押絵を先生に教わりながら作る仕事でした。「次の年に新しいクラブを作るから入りませんか」と誘われ、互助会のクラブ手芸作りの「すみれ会」と健康推進サークル「いがスマイル彩」に入りました。

「すみれ会」では、会員がお互いに教え合って、シャドークラフト、ポーチ、ソックスカバー、カバン等、作った品物は、憩のやかたで販売しています。去年は、格子柄の忍者衣装を作りました。貸出もしています。ぜひ見に来てください。

自分の作ったカバンを持っている人を見かける時もあり、追いかけて行って話し込む時もあります。「いがスマイル彩」では、レクダンス、民謡、紙芝居、忍にん体操、歌等をしています。ボランティア団体として登録してあり、年間15ヶ所程、地区のいきいきサロンや老人施設、敬老会、夏祭り、で大型紙芝居・民謡・レクダンス等を披露しています。会の発足から14年が経ち、仲間の人も半数以上が後期高齢者になり、覚える事にも時間がかかり間違える時もありますが、訪問先の人々の笑顔と拍手、「楽しかったよ」と言って下さる言葉にやりがいを感じて、これからも皆さんに喜んでもらえるように頑張ろうと思っています。いがスマイル彩で、ボランティアを続けられるのも、会の仲間や周りの人の理解と、協力があってのことです。感謝しています。



慰問先 介護老人福祉施設 さくら苑にて（筆者 前列左）



私達は「こんな仕事をしています」



杉山 邦雄 (事業所 ぎゅーとら班)

皆さんこんにちは。私がぎゅーとらに勤務させてもらって1年半になろうとしています。その間、シルバー人材センターから一緒に勤務されている13名の方々に親切にしていただき、本当に感謝ばかりの毎日です。私が最初に感じた事は、まず店長さんの人柄がすばらしい事です。忙しくされても私達にも声をかけて下さいます。

配属は荷受3名、カート3名、青果3名、精肉1名、食品3名、店頭販売3名の計16名（兼務者含む）です。部門や仕事の内容も違い勤務時間もまちまちですが、出合ったら声を掛け合い励まし合ったりして、楽しく仕事をしています。今、シルバー人材センターの担当者と2ヶ月に1回ぎゅーとらの班長会議を行い、適正就業と安全就業の確保を行うため、日々の課題や問題点を話し合い改善を行っています。今後もお客様とのふれ合いを大切にしながら笑顔で勤めて参りたいと思っています。近々、市内に出店も計画されているようですので、皆さん、是非よかつたら生きがいを見い出しにあなたの気力、知力、体力を持って私達と一緒に働いてみませんか。



中西 久美 (児童クラブ 中瀬「ネバーランド」班)

「ただいま!!」私たち支援員の仕事の始まりです。現在、低学年がほとんどですが、中学年・高学年の子ども達20名までが入所しています。保護者の方が、お迎えに来られるまで、子ども達と一緒に生活や遊びを通して見守り役をしております。支援員は66歳から80歳余り…。子ども達の元気を自分達の元気の源に変え頑張っております。



若い保護者の方が安心して働く手助けを体力の続く限り続けていきたいと思っています。孫の様なかわいい子ども達のために、どうぞ一人でも多くの会員の方が係わっていただける様お待ちしております。



西堀 喜代 (草引 南班)

私達南班は、7名の会員で、公共・民間を2班に分かれて草引きをしております。会員の皆様もよければ私達と一緒に働いてみませんか。健康の為に。



鶴崎 正宣 (剪定 鶴崎班)

鶴崎班は8名で、青山地区以外の伊賀市全域を担当しています。庭木の剪定が主な業務ですが、庭木の伐採、生垣の刈込・整枝、庭木の消毒も行っています。また、庭木以外に工場等の樹木の剪定も行っています。剪定の仕事が忙しくなる時期は、10月～1月で、作業は8:00～17:00までです。基本的には、土・日は休みと zwar いますが、雨で延びた日は、土・日に組入れ、お客様の希望日に合わせて実施しています。私の場合、特に剪定の技術を持っていたわけではないのですが、上野森林組合に勤めていたこともあり、木について興味を持っていましたので、入会しました。先輩から色々な指導を仰ぎながら、剪定の技術を学びました。最初から上手には出来ませんが、件数を熟し、慣れてくると楽しくなってくると思います。シルバー人材センターでは、木の高さは、市販の12尺の三脚で手の届く範囲のものまでで、あまり高い木は断っています。庭木に興味をお持ちの方は、安心して入会していただきたいと思います。





私達は「こんな仕事をしています」



宇野 博 (清掃 くれは水辺公園班)

私達の作業内容は、公園内の清掃と、ゴミ拾い、季節によって作業が変わります。落ち葉の収集、草引きをがんばっています。8人で、週2日、月曜日と木曜日が私達の作業日です。朝7時半集合、5分間のミーティング。班長さんの指示で動きます。「今日は誰々さんがゴミ拾いに行ってください。との人は○○公園へ行って掃除をする」と言われリヤカーに仕事道具を積んで出かけます。

仕事時間は、3時間。7時半から10時半まで、年齢も70才、80才、90才、みんな足や腰が痛いと言いながら楽しくがんばっています。仕事が出来るという事が良い事だ~。



田中美代子 (家事援助班)

毎週木曜日に、午後1時よりワークプラザで、山本千草さんをリーダーに色々な物を作っています。出来上がった品物は、にぎわいフェスタ、津のいきいきフェスタ、けんずい祭りなどで販売しています。こんにゃく作りも合わせて行っています。伊賀のこんにゃくはおいしいと喜んでもらっています。池町の池いけサロンも開いており10年になります。毎月第4土曜日にスタッフ4人で開いて居り、食事はいつも手作りで、ごはん、おかずを作って喜ばれて居り、現在14名ほど来て下さっています。歌を唄ったり、折り紙でいろいろと珍しい物を作ったり、古川(元理事長)さんにはいろいろな話も聞かせて頂いて、心に残るためになる話をして頂いています。12月には、梨の木園と彩四季にボランティアで掃除に行かせて頂いて喜ばれています。又、児童クラブの餅つきを手伝って居ります。

家事援助班の方達は、皆気持ちのいい人ばかりで、仲良く、楽しく仕事をしています。最近も新しい方が1人入って来てくださり、とっても楽しく喜んで居ります。



中村 昭一 (草刈 伊賀班)

- 近年は、高齢化率のアップ、お一人でお住まいの方、農業後継者不足が増えてきているのが現状です。高齢者世帯の生活支援（草刈等）的な仕事の増加、又、宅地造成地の草木の刈り取り作業、一般企業の敷地内草刈り等の作業が増加しています。

一方で、定年の延長もあり、又、草刈作業についても夏場の暑い時期に集中する中で、草刈に従事する者（担い手）が高齢化し、減少する一方です。

今後は、草刈に従事できる方々の多くの皆様のご入会をして頂きたいところです。



《草刈伊賀班のあらまし》

登録会員19名 【実質就業者】 = 13名

年齢別 (82歳 = 1名・76歳 = 2名・74歳 = 1名・72歳 = 3名・
70歳 = 1名・68歳 = 1名・66歳 = 3名・61歳 = 1名)

平成30年就業実績 公共施設 = 5,740時間

民間施設 = 2,241時間

計 7,981時間



市松模様の忍者衣装を発表 10月10日(水)



当センターでは、会員が手作りした市松模様の忍者衣装の貸し出しを独自事業で開設している「憩のやかた」で行っています。忍者衣装は、互助会の手芸クラブ「すみれ会」の会員11名で作成しました。これまで、着物の生地をほどいて子供の忍者衣装6着を作成し今年の伊賀上野NINJAフェスタから「ぷち忍者変身処」で忍者に変身のお手伝いを行っています。

10月10日の市松柄忍者衣装発表会の日には新聞社4社とケーブルテレビが取材に来てくれました。これから益々「憩のやかた」の利用者が増えることを期待します。



「三重県シルバーの日」大型店舗で啓発活動 10月13日(土)



三重県シルバーの日、市内の大型9店舗にて役員、会員、職員57名がわかれ、会員募集をうったえ街頭広報活動を実施しました。



安全講習会開催

12月1日(土)



大山田どんぐりホールに於いて、平成30年度安全講習会を開催致しました。当日は、98名の参加を得て、盛大に開催することができました。開催挨拶に続き、安全標語の表彰を行い、中居理事長から表彰状と記念品が贈られました。続いて、角谷安全委員長から『定型手順準備について』と題し日常生活に例をひき、安全・無事故に関する話がありました。シルバー就業に際し、定型的な手順・準備が肝要であるとの主旨でした。次に伊賀市立上野総合市民病院副院長田中光司様より、「お腹をよくして元気になる」と題し講演していただきました。尚、終了に際し貝増副理事長から、全会員が一丸となり会員拡大に努めて頂きたい旨、特段のお願いがありました。





平成30年度 事故発生概要



平成31年1月15日現在 傷害 13件 物損 5件

番号	性別	年齢	発生月日	通院日数	入院日数	事故状況・受傷部位	傷害・物損
1	女	78	30.4.2	18	—	就業途上、つまずいて左足をひねった	傷害1
2	女	75	30.4.9	3	—	事業所炊事場でかごにつまずき転倒、顔を打撲	傷害2
3	男	71	30.4.27	2	—	鋤うち作業中、誤って左手親指を切傷した	傷害3
4	女	69	30.6.12	1	—	草引き作業中、右手のひじをムカデに刺された	傷害4
5	女	86	30.7.15	2	—	草引き作業中、右手を1蜂に刺された	傷害5
6	男	64	30.7.16	—	—	草刈り作業中、草むらにあった水道蛇口たて管を破損	物損1
7	女	78	30.7.17	1	—	草引き作業が終わり体調が悪くなり受診、熱中症で点滴を受ける	傷害6
8	男	73	30.7.18	5	—	角材を加工中、手が滑って右手薬指が刃に接触し、爪と指先を切傷	傷害7
9	男	73	30.7.23	—	3	草刈作業で休憩の際、気を失う。身体を冷やす等、発注者の手当を受け救急搬送される。熱中症	傷害8
10	男	69	30.7.25	—	—	乗用草刈機で作業中、汚水栓の蓋を損壊	物損2
11	男	77	30.7.30	1	—	草刈作業が終わり帰宅、気分が悪くなり受診。熱中症の診断で点滴を受ける	傷害9
12	女	80	30.8.20	4	—	事業所清掃中、誤って滑り胸を打撲	傷害10
13	男	71	30.9.12	—	—	事業所工場内草刈り作業中、通行ゲートセンサー損傷	物損3
14	男	71	30.9.13	—	—	草刈作業中、飛び石により車輪窓ガラス破損	物損4
15	男	80	30.10.4	通院中	—	清掃就業中トラブルにより転倒。左肩、頭部の打撲及び擦傷	傷害11
16	男	72	30.10.10	—	—	駐車場草刈り作業中、軽乗用車（会員の車）のサイドガラスを破損させたもの	物損5
17	男	71	30.10.30	1	—	ゴミ回収補助就業中、収集車両に接触。左太ももを打撲（派遣労災適用）	傷害12
18	男	65	30.11.13	2	—	草刈り作業中、目に異物が入り炎症	傷害13

※現在傷害13件ですが、うち3件は猛暑によります熱中症の発生となっております。年々温暖化により、夏の就業又室内におきましても水分補給等充分に気をつけてください。



三連安全・適正就業パトロール(伊賀市) 9月19日(水)



三重県シルバー連合会から7名のパトロール員による安全・適性就業パトロールを受けました。パトロールは、中外医薬品株式会社緑ヶ丘工場の日常清掃業務と上野公園の草刈り作業を見ていただき、その後は、センターで意見交換が行われました。

パトロール結果は、安全かつ適正に就業されているとお褒めの言葉をいただきました。これを機により一層会員、職員が一丸となって、事故無く適正就業できるよう取り組みたいと思います。





互助会だより



●●● 親睦旅行（石和温泉） 10月3日(水)、4日(木) ●●●

互助会主催、石和温泉1泊2日のバス旅が、会員42名参加し行われました。一日目は、少し曇っていましたが、富士山を望むことができました。二日目は、時々の雨降りで予定していた河口湖のかちかち山からの富士山の展望はできませんでした。

日頃の疲れも忘れ、バスの中や、旅館で互助会役員さんが大変和やかな雰囲気を作っていただき、思う存分楽しみました。互助会役員さんお疲れさまでした。



●●● 「第2回 シルバーフェスタ IN 伊賀」を開催 11月15日(木) ●●●

昨年に続き2回目となる「シルバーフェスタ IN 伊賀」をハイトイピア伊賀5階多目的ホールで行いました。95名の一般市民と会員が集い、にぎやかに開催されました。今年は展示品も800点を数え、体験ブースは、クラフト細工も増え、体験された方も今日は来てよかったですと言って帰られました。又、名張シルバー互助会長他3名の方も見えられ、一時を過ごして頂きました。



●●● 名張市・伊賀市互助会意見交換会 10月11日(木) ●●●

名張市シルバー人材センター互助会寿会と伊賀市シルバー人材センター互助会との意見交換会を名張市シルバー人材センターで実施しました。

それぞれの互助会は、会員のコミュニケーションの場づくりということでそれぞれ苦労をされていると思いますが、意見交換をしながら、両シルバー互助会の今後益々の発展につながる有意義な会となりました。



互助会トピックス

昨年度は、互助会の事業を4事業に増加し、シルバーフェスタ IN 伊賀を立ち上げ、2回目のフェスタも盛会の内に終えることが出来ました。互助会のグランドゴルフ大会、会員旅行、シルバーフェスタ IN 伊賀、芸能大会といずれも会員の皆様が主体となって事業運営を行なっており、シルバーフェスタの出展作品及び体験ブースも好評で、新たにペーパークラフトも加わり、にぎやかに楽しく行事が行われました。

●●● 【お知らせ】第4回 新春芸能大会の開催予定日時 ●●●

日時 平成31年2月22日（金）午前10時～午後3時

会場 ハイトピア伊賀 5階 大ホール

会員皆様のご来場をお待ちしています。出場ご希望の方は種目・曲名を事務局にお申込みください。詳しくは折込チラシをご覧ください。締め切りは2月12日（火）、飛び入り出場は出来ませんのでご了承下さい。





配分金の確定申告について



会員の皆様が、センターから受け取られる配分金は所得税法上「雑所得」として取扱われます。(給与所得ではありませんので、ご注意ください。)

したがって次に該当する場合には、会員の皆さんが必要がありますのでご注意ください。

◎配分金収入のみの場合

配分金収入が103万円を超える会員 (基礎控除38万円+必要経費65万円)

◎配分金収入と公的年金収入がある場合

配分金収入 - 必要経費 = 配分金所得……………ア

公的年金等収入 - 公的年金等の控除額 = 公的年金所得……イ

ア + イ - 基礎控除 - 配偶者特別控除等 = 課税所得金額

公的年金（国民年金・厚生年金・共済年金）の控除額

(1) 65歳未満の会員 (昭和29年1月2日以降に生まれた人)

公的年金等の収入金額(a)	控除額
① ~ 130万円 未満	70万円
②130万円~ 410万円 未満	(a) ×25% +37.5万円
③410万円~ 770万円 未満	(a) ×15% +78.5万円
④770万円	(a) ×5% +155.5万円

(2) 65歳以上の会員 (昭和29年1月1日以前に生まれた人)

公的年金等の収入金額(a)	控除額
① ~ 330万円 未満	120万円
②330万円~ 410万円 未満	(a) ×25% +37.5万円
③410万円~ 770万円 未満	(a) ×15% +78.5万円
④770万円	(a) ×5% +155.5万円

◎配分金の支払証明書は、確定申告の開始時期までにお送りいたします。

(平成29年12月～平成30年11月就業分)

◎配分金、公的年金等収入以外に収入がある場合など、詳細については個別に税務署にご相談ください。

事務局からのお知らせ

2020年5月30日(土)開催予定の伊賀市シルバー人材センター設立15周年記念事業にかかる企画委員会が、設置されました。記念事業開催に向けて貝増委員長(副理事長)ほか各委員の方に検討いただいております。会員の皆様には、御協力をお願いする事があると思いますがよろしくお願いします。

広報編集委員会

委員会
副委員長
委員長

重倉あつ子 岡本隆雄 奥久博 永典 岩本俊章 森吉田智 森中西繁 田角谷誠之助 山岡幸五

長年の豊かな経験や知識を生かす場は少なくないはず。社会とかかわることで新たな可能性が切り開かれるかもしれません。本誌がそんな価値観の共有と会員拡大の一助になれば幸いです。

「平成」の最後、新しい元号の始まりの年がスタートしました。干支は己亥(つちのとし)。内なる充実を図り次のステージの準備をする年という意味があるようです。人生百年時代を迎える我々リタイア世代も今後三、四十年、自分の人生をどう生きるのか、考え、行動する年にしたいものです。

特に職を持たない人にはシルバー人材

センターを利用していただくのも選択肢の一つ。定年延長など雇用環境の変化で会員が漸減していますが、時代の要請は「依存よりも自立」。働ける間は働いて社会貢献しているという実感、喜びを得るのも魅力ある生き方です。

編集後記